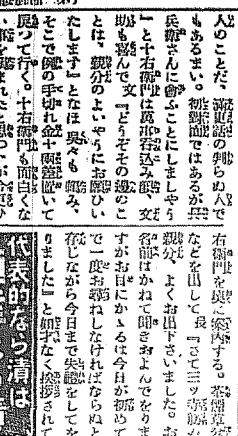


五、每口三三三

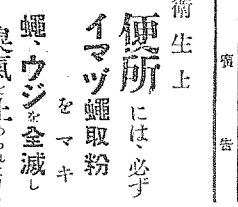
[illegible][illegible]

田中寺計

持鶴
△建部氏金
△前澤氏飛騨歩歩
△五九金 △三八と△六三と△八二
△五四四馬 △六九と△七二馬△同
△公七七飛 △同金△同と△同五△
六三銀進にて志濃氏の勝

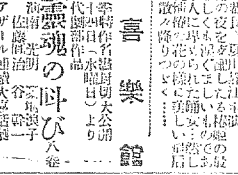
八月二十三日
(西暦八月四日)
△七赤 △時國△大晴
△丙申 △大安 △建△葦霜

上赤 △時水次で飛も寄る

[illegible]

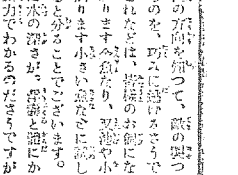
監督 中川紫朗

二、**二人長兵衛** 全六
 時代劇部空前の大作
 十郎、坂東彌生、片岡千
 枝子、泉博子、大友柳
 太郎は金を持たから有
 料金を特別に安くして
 金銭が安くて、金銭が
 金館として御引立を願
 馬車寅 全五巻
 輔、吉田豊子、大友柳
 子、澤田研二、大友柳

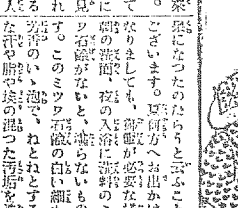
[illegible]

流を露たりする折が多くな
 程々と面白いことがわか
 ります。

入間は、他の動物に比べま
 鹿がすぐれて居りますこと
 すまでもございせんが、ま
 しても完全に餌はつて居る
 ことが、一観に考へられて
 すが、實際は中々さうでな
 ず、麋などは、甲端に穂

[illegible]

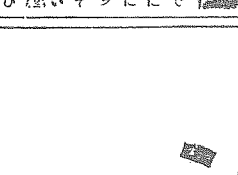
ては、居ります。それから、愛嬌者に
はれて居ります。蛙なども、湿
潤する感鏡があります。さういふ
が、人間にはありません。人間は
進化して、高等動物になつてしま
うのですが、野云風に、他の動
物にある感鏡がないのは、變な
りではありますが、人間は、今の様
子に役に立つ方だけが遺選し
つて、あんまり用はなくやつた



大 燭 金五 十
 金一厘五

本報

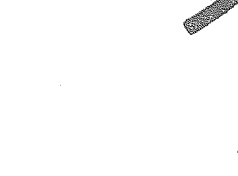
下主



創立 明治
倉庫 業 倉
株式 會社
京 城 府
三 井 物 産 會 社

五、六、七、八、九、十、十一、十二、

赤玉は 非常に

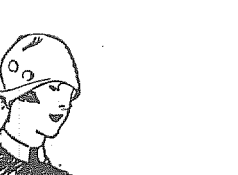


參拾貳年
營
朝鮮商業印

大門口通貳丁目百拾號
和服田
趙錦
平國同大門口第拾號
大門口前本町二丁目同本町
平國同大門口第拾號

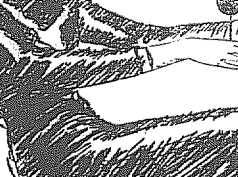
八日掛客二果古

よくし

[illegible]

金荷具ヲ被御臨

11






著トシテ



正
嘉納
武
社
大坂東洋堂

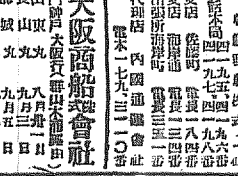
遊生

707



宗
商店
轉金山各處

行行
顧天
江安
九丸
九丸
九丸
九丸

[illegible][illegible]